

## 人材育成

### 乗務員の養成と資質管理

当社には、国土交通省の指定を受けた養成所として「鉄道研修センター」があり、ここで多くの運転士・車掌を養成してきました。今後も、お客さまの「安心」「信頼」のために、「安全」を守る乗務員の養成に全力で取り組んでまいります。

#### ● 運転士・車掌の養成

運転士・車掌の養成は、「鉄道研修センター」で所定の学科を学んだ後、各乗務職場に配属され指導運転士・指導車掌のもとマンツーマンで乗務しながら技能を習得していきます。



運転シミュレーターを使った訓練



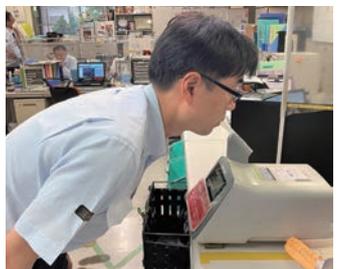
現車乗務員室を使った訓練



運転士養成における現車訓練

#### ● アルコール検知器による確認と健康管理

乗務員は、乗務前に必ず監督者による健康状態の確認を受けるほか、アルコール検知器による確認を徹底しています。また、定期的に健康診断も実施しています。



乗務前にアルコール検知器による確認を行い、監督者が管理を徹底しています



点呼時には監督者が乗務員の健康チェックを行います

## 安全をつくる意識向上と技術伝承

現場での作業における安全意識向上に向けた取り組みや、設備や施設のメンテナンス作業などに必要な技術を伝承するための取り組みを行っています。

#### ● 危険体感研修

危険体感研修は、墜落制止用器具（安全带）の装着や高所歩行、高所からの工具落下や感電などの体験をすることを通じて、作業上発生しうる危険なポイントを伝える訓練です。経験の浅い若手社員に対し、事故防止の意識向上を図るために実施しています。



高所歩行体験で高さ約2mの狭い通路を歩行する疑似体験の様子



墜落制止用器具（安全带）を装着した疑似体験の様子

#### ● 競技会・講習会

技術部門では、設備の更新に伴う機器の性能向上により、部品などの故障や劣化による取り替えが少なくなってきた現状を踏まえ、組織の技術力強化やベテランから若手への技術伝承、従業員のモチベーション向上などを目的として、競技会や講習会を定期的実施しています。



車両部門での技能競技会：車輪の打音検査作業



工務部門での緊急時の列車防護訓練：列車見張員による接近する列車の運転士へ緊急停止を合図するための旗振り訓練



電気部門での軌道カート運転訓練



電気部門での技能競技会：電車線の張り替え作業

## 緊急事態に備えたさまざまな訓練

万が一、不測の事態が発生したときには、冷静かつ迅速・的確に事故の処理ができるよう、日ごろからさまざまな訓練を行っています。

### ● 運転事故総合訓練

毎年1回、鉄道事故が発生した際の併発事故の防止、負傷者の救護、関係部署への連絡通報、お客さまの避難誘導、復旧作業などを迅速・確実に行うために「運転事故総合訓練」を実施しています。2022年度は10月13日に現場での処置対応を長津田検車区の車庫内で実施し、社長、安全統括管理者をはじめ鉄道事業本部の各部門、約150名が参加しました。本社では現場と同時並行での情報伝達訓練も実施し、約40名が参加しました。



車内で負傷されたお客さまを布担架を使って搬送  
車両係員による脱線車両の復旧作業



電気係員による電車線張り替え作業  
保線係員による線路の歪み修正作業

### ● 異常時運転取扱訓練

春と秋の年2回、職場ごとに「異常時運転取扱訓練」を実施しています。駅係員は、対向列車や後続列車を緊急に停止させる列車防護、ポイントが故障した場合を想定した信号係員による手動操作、ホーム案内時の列車緊急停止合図などの訓練を行っています。

また運転士と車掌は、列車防護、負傷者の救護、運輸司令所への連絡通報、お客さまの避難誘導などの訓練を行っています。



白杖ご利用のお客さまの避難誘導  
信号炎管を使用した列車緊急停止訓練

### ● 事故・災害対策本部設置・初動対応訓練

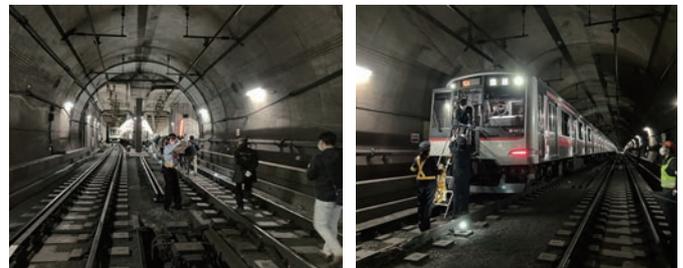
管理職を中心に従業員が参加して、万が一の事故・災害発生時に迅速かつ適切に対応ができるよう、対策本部の設置と初動対応訓練を定期的の実施しています。



管理職を中心とした本社での訓練

### ● 運輸部避難誘導訓練

- 日時：2023年2月18日終電後
- 場所：東横線 横浜駅
- 目的：2023年3月18日から開始した東横線のワンマン運転実施に伴い、輸送障害等によって駅間で停車した際の車内旅客の避難誘導方法について、乗務員・駅係員・運輸司令所との連携を確認
- 概要：横浜駅上り線を発車した列車が架線停電により駅間で停止。運輸司令所からの車内放送実施、車いすをご利用のお客さまのご案内、線路内を歩行する旅客の避難誘導を乗務員と駅係員が連携し実施



駅係員による線路内誘導

列車の非常はしごを使った避難準備

## ● 警察・消防との連携

社内の定期的な訓練だけでなく、警察署や消防署と連携したお客さまの避難誘導などの訓練を職場単位で実施しています。



消防隊による消火活動



煙が充満する車内からの避難誘導

### ▶ 警察署、他の鉄道事業者との連携訓練実施状況(2022年度)

日程	場所	内容	連携先
2022年5月17日	二子玉川駅	帰宅困難者の受け入れを想定した訓練	世田谷警察署・玉川消防署
2022年6月29日	横浜駅	AEDを使用したお客さま救護訓練	西消防署
2022年7月27日	上町駅	列車内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	世田谷警察署
2022年11月2日	宮崎台駅	駅構内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	宮前警察署・宮前消防署 ⇒P.27①参照
2022年12月7日	元住吉車庫	列車火災が発生したことを想定した訓練	中原消防署
2023年2月2日	溝の口駅	駅構内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	高津警察署 ⇒P.27②参照
2023年2月2日	二子玉川駅	駅構内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	玉川警察署
2023年2月5日	長津田駅	駅構内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	緑警察署
2023年2月12日	新横浜駅	列車内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	港北警察署・港北消防署・相模鉄道 ⇒P.27③参照
2023年3月3日	新綱島駅	駅構内におけるNBCテロが発生したことを想定した訓練	港北消防署
2023年3月20日	二子玉川駅	駅構内におけるNBCテロが発生したことを想定した訓練	玉川警察署・田園調布警察署・碑文谷警察署 高津警察署・玉川消防署 ⇒P.27④参照
2023年3月24日	長津田駅	駅構内における刃物を持った粗暴犯がいることを想定した訓練	緑警察署・JR東日本

## 安全MEMO

### サイバーセキュリティ対策

サイバーセキュリティ関連の課題認識とリスク評価を行い、日々進化する攻撃手法に対応できるよう、技術的、物理的な対策強化を適時行っています。



## 安全MEMO

### 異常時用名札ワッペン

従業員が、通勤時など当社線を利用中に事故や災害に遭遇した際には、この「名札ワッペン」を左胸などに貼り付け支援活動を行います。お客さまや外部の関係者に対して支援者が当社の従業員であることを明示し、円滑な支援活動ができるよう備えています。



### ① 駅構内粗暴行為対応訓練

- 実施日：2022年11月2日
- 場 所：宮崎台駅構内
- 目 的：粗暴行為発生時の避難誘導および警察、消防と関係機関の連携確認
- 概 要：宮崎台駅構内で刃物を持った不審者による粗暴行為を想定。駅係員による関係各所への連絡、駅構内のお客さまの避難誘導、警察による犯人確保と消防によるお客さまの救護訓練を実施
- 参加者：宮前警察署・宮前消防署・東急電鉄 計約50名



駅係員の通報で駆け付けた警察と消防



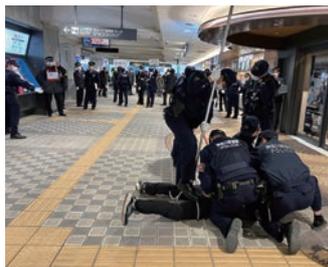
消防隊による負傷者救護の様子

### ② 駅構内粗暴行為対応訓練

- 実施日：2023年2月2日
- 場 所：溝の口駅構内
- 目 的：粗暴行為発生時の避難誘導、警察との連携確認および訓練による受傷事故防止
- 概 要：刃物を持った不審者による粗暴行為を想定。駅係員によるお客さまの避難誘導訓練と警察による犯人確保訓練を実施
- 参加者：高津警察署、東急電鉄 計約30名



刃物による粗暴行為発生の様子



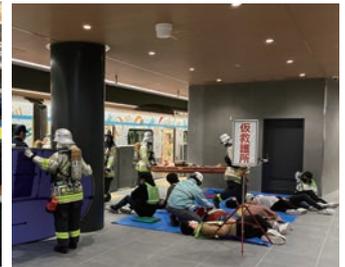
警察により確保された粗暴犯

### ③ 列車内粗暴行為対応訓練

- 実施日：2023年2月12日
- 場 所：新綱島駅～新横浜駅間下り線
- 目 的：車内粗暴行為発生時の警察、消防との連携確認
- 概 要：刃物を持った不審者による列車内での粗暴行為を想定。乗務員、駅係員、警察、消防、相模鉄道と連携して、お客さまの避難誘導訓練を実施
- 参加者：港北警察署・港北消防署・相模鉄道・東急電鉄 計約200名



消防隊による負傷者救護の様子



### ④ 駅構内 NBC テロ訓練

NBC：N (nuclear) 核、B (biological) 生物、C (chemical) 化学物質

- 実施日：2023年3月20日
- 場 所：二子玉川駅構内
- 目 的：1995年3月20日発生の「地下鉄サリン事件」の風化防止と、同種事象発生時の駅係員によるお客さまの避難誘導および警察、消防との連携強化
- 概 要：駅構内において不審者3名により危険物質がまかれ、お客さま数名が倒れた事態を想定。駅係員によるお客さまの避難誘導、警察による犯人確保と消防によるお客さまの救護訓練を実施
- 参加者：玉川警察署、田園調布警察署、碑文谷警察署、高津警察署、玉川消防署、東急電鉄 計約60名



消防隊による救助の様子



警察による危険物質回収

## 震災への備え

2011年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、事業継続計画を構築するとともに構造物の耐震補強工事に取り組んでいます。

当社では原則、震度4以上の地震が発生した場合には、全列車を一旦停止させた上で、徐行運転や施設等の点検などにより安全を確認します。確実に安全を確保した上で、早期の運転再開ができるよう努めていきます。

また、大震災の影響を踏まえ、事業の継続力の向上によりお客さまの安全確保と災害に強い東急線を目指します。

### ● 事業継続計画（BCP）の継続的改善

大規模地震や災害発生時にお客さまの安全を確保することを優先とし、適切な避難誘導や正確かつ迅速な情報提供、早期の運転再開に資するように事業継続計画を構築しています。今後も減災対策の推進や災害を想定した訓練の実施により事業の継続力を高めていきます。

### ● 代替通信手段の設置

大規模災害発生時に通常の通信手段が使用不能となった場合の通信手段として「管内間電話」「JR 電話」「衛星電話」「衛星無線」「警視庁緊急時直通電話」を導入しています。



衛星無線通話訓練

### ● 帰宅が困難なお客さまへの対応

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客さまへの対応として、保存食、簡易ブランケット、簡易トイレが全ての駅に確保されており、飲料水については、災害対応飲料自販機を設置しています。

また、一時滞在施設へ移動されるまでの一時的な待機場所として、点検が終了した駅構内の一部をお客さまに提供し、警察・消防と連携を図りながらお客さまの安全を確保できるよう努めます。その他、行政機関主催の災害対策会議などへ積極的に参加し連携を図っています。



保存食



簡易トイレ



簡易ブランケット



備蓄飲料水



災害対応飲料自販機

ディスプレイに記された「災害救援ハター」が目印